

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2016年4月1日

【会社名】 楽天株式会社

【英訳名】 Rakuten, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

【電話番号】 050-5581-6910（代表）

【事務連絡者氏名】 副社長執行役員 最高財務責任者 山田 善久

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

【電話番号】 050-5581-6910（代表）

【事務連絡者氏名】 副社長執行役員 最高財務責任者 山田 善久

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【提出理由】

2016年3月30日の当社の第19回定時株主総会において、決議事項が決議されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、本報告書を提出するものであります。

## 2 【報告内容】

### (1) 株主総会が開催された年月日

2016年3月30日

### (2) 決議事項の内容

第1号議案 定款一部変更の件

第2号議案 取締役8名選任の件

取締役として、三木谷浩史、穂坂雅之、Charles B. Baxter、久尋良木健、村井純、Youngme Moon、Joshua G. James及び御立尚資を選任する。

第3号議案 監査役2名選任の件

監査役として、山口勝之及び内田貴秀を選任する。

第4号議案 当社、当社子会社及び当社関連会社の取締役、執行役員及び従業員にストックオプションとして新株予約権を発行する件

第5号議案 当社、当社子会社及び当社関連会社の社外取締役にストックオプションとして新株予約権を発行する件

第6号議案 当社、当社子会社及び当社関連会社の監査役にストックオプションとして新株予約権を発行する件

第7号議案 米国カリフォルニア州居住者向けにストックオプションとして発行する新株予約権につき特別条項を適用する件

(3) 決議事項に対する賛成、反対及び棄権の意思の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件並びに当該決議の結果

決議事項	賛成数 (個)	反対数 (個)	棄権数 (個)	可決要件	決議の結果及び 賛成割合(%)
第1号議案 定款一部変更の件	11,721,817	4,397	4,054	(注)1	可決 97.6%
第2号議案 取締役8名選任の件					
三木谷 浩史	11,595,822	130,392	4,054	(注)2	可決 96.6%
穂坂 雅之	11,660,744	65,469	4,054		可決 97.1%
Charles B. Baxter	11,660,751	65,462	4,054		可決 97.1%
久野良木 健	11,621,918	104,297	4,054		可決 96.8%
村井 純	11,654,754	71,461	4,054		可決 97.1%
Youngme Moon	11,692,452	33,763	4,054		可決 97.4%
Joshua G. James	11,616,812	109,402	4,054		可決 96.7%
御立 尚資	11,716,972	9,243	4,054		可決 97.6%
第3号議案 監査役2名選任の件					
山口 勝之	9,888,971	1,799,598	41,682	(注)2	可決 82.4%
内田 貴秀	9,809,944	1,897,554	22,749		可決 81.7%
第4号議案 当社、当社子会社及び当社関連会社の取締役、執行役員及び従業員にストックオプションとして新株予約権を発行する件	10,530,017	1,195,206	5,050	(注)1	可決 87.7%
第5号議案 当社、当社子会社及び当社関連会社の社外取締役にストックオプションとして新株予約権を発行する件	9,344,851	2,380,373	5,050	(注)1	可決 77.8%
第6号議案 当社、当社子会社及び当社関連会社の監査役にストックオプションとして新株予約権を発行する件	8,811,160	2,914,071	5,050	(注)1	可決 73.4%
第7号議案 米国カリフォルニア州居住者向けにストックオプションとして発行する新株予約権につき特別条項を適用する件	10,622,773	580,982	526,541	(注)2	可決 88.5%

- (注) 1 議決権を行使することのできる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した株主の議決権の3分の2以上の賛成による。  
 2 議決権を行使することのできる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した株主の議決権の過半数の賛成による。

(4) 株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

本総会前日までの事前行使分及び当日出席の株主のうち各議案の賛否に関して確認ができたものの集計により、決議事項が可決されるための要件を満たし会社法上適法に決議が成立したため、当日出席した株主のうち、賛成、反対及び棄権の確認ができていない議決権の数は加算していません。